



ネットワンシステムズ株式会社 会社案内

ネットワンシステムズ 株式会社

2025年6月20日



経営統合で唯一無二の存在に

独自のポジションを確立し、
圧倒的な存在感・影響力を持つ企業グループを目指します

会社情報

- ・ パーパス
- ・ 企業理念体系
- ・ サステナビリティ方針
- ・ Environment Social Governance
- ・ SDGsへの取り組み
- ・ 社会貢献活動

事業概要

- ・ 会社概要
- ・ 組織図
- ・ グループ会社
- ・ 沿革
- ・ 事業の変革と拡大
 - フェーズ1 : 企業内ネットワーク
 - フェーズ2 : インターネット
 - フェーズ3 : クラウド&セキュリティ
 - フェーズ4 : デジタル化/サービス事業領域の拡大

ビジネスの現況

- ・ マーケット区分
- ・ 商品群区分
- ・ マーケット別・商品群別の売上高推移
- ・ 当社の付加価値
- ・ 主なベンダー認定資格

施設紹介

- ・ 付加価値を支える施設
 - イノベーションセンター (netone valley)
 - テクニカルセンター
 - 品質管理センター
 - ネットワークアカデミー
 - エキスパートオペレーションセンター
 - セキュリティオペレーションセンター
 - Lab as a Service (LaaS)

01

会社情報

「人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、 伝統と革新で豊かな未来を創る」

コーポレートロゴマーク

コーポレートマークは「匠」という文字を意匠化したもので、
国際的なICTの販売・サービス・保守にかかわる日本企業が
「匠の技と心」を持っているという自負を表わしています。



つなぐ 〓 むすぶ 〓 かわる



企業理念体系



「Purpose」 志 大義

人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、
伝統と革新で豊かな未来を創る



「Mission」 使命

我々は、一人一人が卓越した専門性と高い倫理観を持つプロフェッショナルであり、
社会とお客様の課題解決に貢献する



「Vision」 目標 Goals

- ネットワークのリーディングカンパニーとしての高い誇りを持つ
- ネットワンならではの付加価値を創出し、継続した成長を実現する
- 絶え間ない自己研鑽で心と技術を鍛える精鋭集団であり続ける
- 幅広いステークホルダーへの責任を果たすため、適切な収益構造を維持する



「Values」 価値観

People: 私たちは大切な人に誇れる仕事をします
Governance: 私は社会に評価される行動を取り続けます
Social: 私はお客様と一緒に、価値を創造し展開します
Environment: 私は未来を想い、未来の仕組みをつくります



「WAY」 行動指針

WAYとは「仕事をする上での考え方や判断・行動の基本」を明文化したものです
私たちの志、大義であるPurposeと、価値観であるValuesを結びつけ、
大切なものを実現するために実際に取る行動を表現しています

サステナビリティ方針

ネットワンのサステナビリティ方針

ネットワングループは、ネットワークのリーディングカンパニーとして、お客様や社会の変革を支える高付加価値なサービスを提供することで成長してきました。

私たちは「人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、伝統と革新で豊かな未来を創る」を存在意義として、お客様の成功、社員の幸福、パートナーとの共創関係の構築、株主価値の向上、自然環境の保全に事業を通じて貢献することが、企業価値の向上につながると考えています。「優れたネットワーク技術」「マルチベンダ対応」「お客様との共創」から生まれるICTの目利き力と知見を磨き、社会価値と経済価値を創出するサービスを提供することで持続可能な社会への貢献と当社の持続的成長を両立していきます。

Purpose Mission - Vision - Values

WAY

サステナビリティ方針

マテリアリティ

安心・安全な
高度情報社会の
実現

プロフェッショナル
人財の活躍

脱炭素社会
への貢献

持続可能な成長を
実現する
ガバナンス体制の
維持強化

中期経営計画 2025-2027

成長戦略

事業・サービス戦略

財務戦略

経営基盤強化

人財戦略

業務改革

企業文化改革

社会的責任

サステナビリティ経営

SDGs宣言

ビジネスを通じた貢献

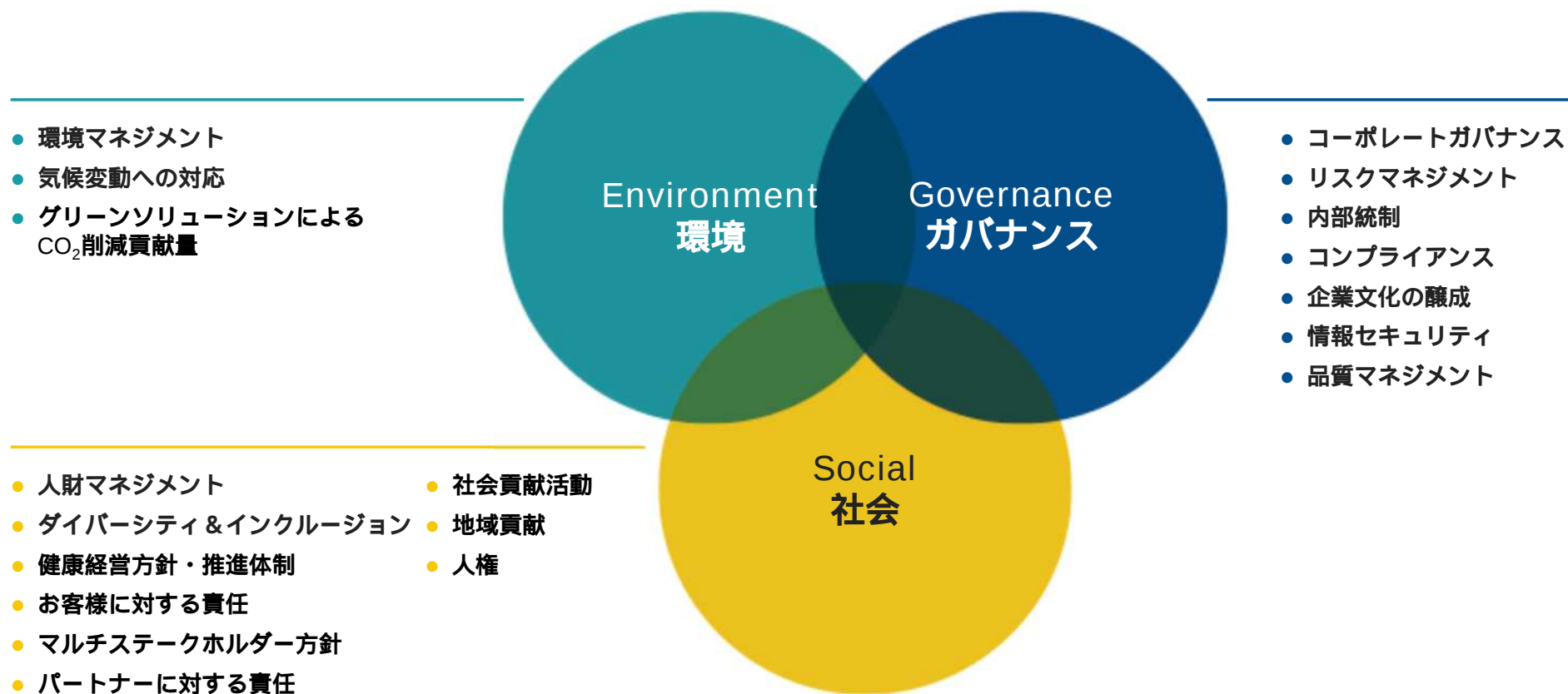


企業活動を通じた貢献

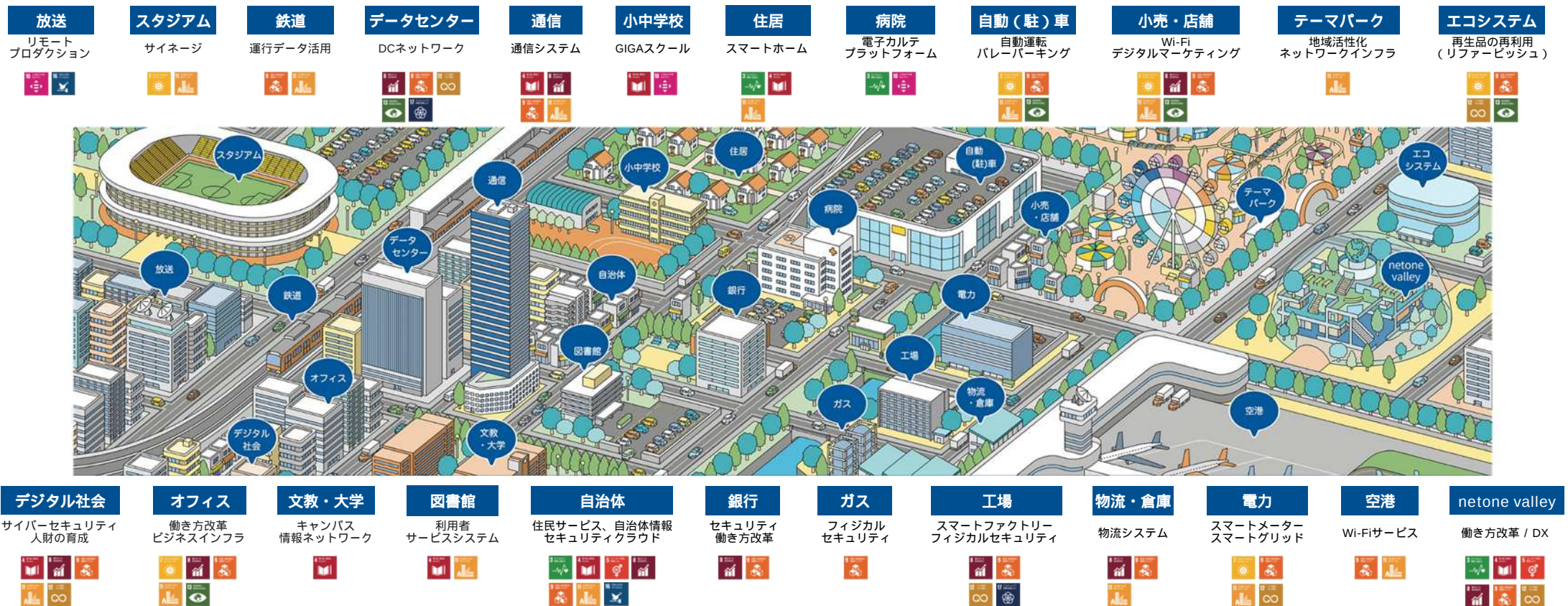


Environment Social Governance

ネットワングループは、SDGsの達成に向けてビジネスおよび企業活動を通じ持続可能な社会への貢献と当社の持続的成長を両立していきます。



デジタル社会への貢献 ～ ネットワングループの事業を通じたSDGsへの取り組み～



基本方針

私たちはこの地球で暮らす限り、社会に対して常に貢献していかななくてはなりません。

社会や環境に対して、今すべきことを怠れば、私たちに将来はありません。

地球に対しても、また社会に対しても、正面から向き合い、行動を起こすことは人類が生きていく上で、重要な責務であり、大事な役割だと考えています。

ネットワングループは、

Purpose の実現に向けて、社会・環境への貢献活動を継続的に実施し、人と地球にとって豊かな未来を創造してまいります。

取組内容

当社のマテリアリティに準拠した以下5つの活動領域で豊かな未来を実現します。

地域社会・環境への貢献

地域や近隣団体と積極的に連携し、地域社会への貢献活動および環境保全活動に取り組むことで、心豊かな社会の実現を目指します。



ダイバーシティ & インクルージョン 社会の実現

お互いの個性を受け入れ、その能力を発揮できる社会・環境づくりに貢献します。



次世代人材の育成

将来を担う子どもたちへのICT教育やキャリア教育をサポートしています。



社員の自発的な社会貢献を推進

持続可能な社会への貢献と当社の持続的成長につなげるため、社員のボランティア活動を推進し、社員が主体的に社会課題への貢献に取り組めます。



共創（協賛）による 社会貢献活動

ネットワングループはパーパスの実現を目指し、スポーツや文化芸術活動への支援を通じて人と人をつなぎ、笑顔と心をむすび、豊かな未来を創造します。



ネットワンが発信する情報一覧

「人とネットワークの可能性を解き放ち、伝統と革新で豊かな未来を創る」
ネットワンの理念に基づき、様々な情報を発信しております。

ホームページ

<https://www.netone.co.jp/>



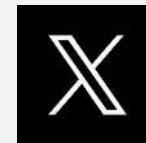
Facebook

<https://www.facebook.com/netone.pr>



X

<https://twitter.com/NetOneSystems>

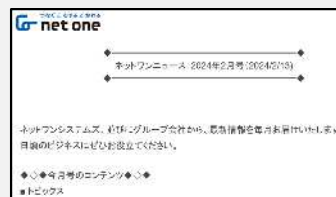


YouTube

<https://www.youtube.com/user/NetOneSystemsPR1>



ネットワンニュース (メールマガジン)



NET ONE BLOG

<https://www.netone.co.jp/media/>

NET ONE BLOG



02

事業概要

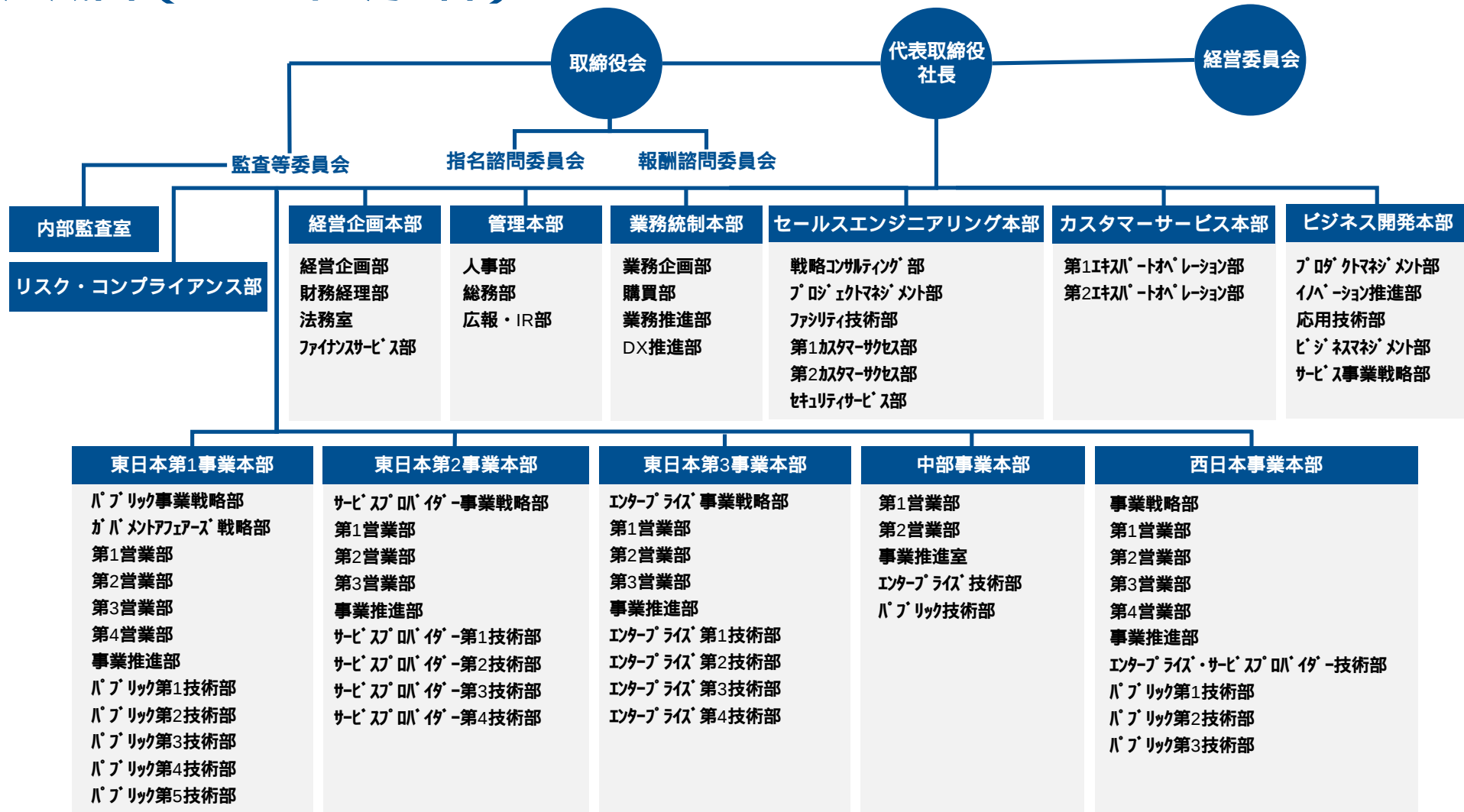
会社概要



社名	ネットワンシステムズ株式会社 (Net One Systems Co., Ltd.)
設立	1988年2月1日
代表者	代表取締役 竹下 隆史
本社	〒100-7025 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JPタワー
資本金	122億79百万円 (2025年3月31日現在)
社員数 (連結)	2,661人 (2025年3月31日現在)
売上高 (連結)	2325億300万円 (2025年3月期)
事業内容	- 世界の最先端技術を取り入れた情報インフラ構築とそれらに関連したサービスの提供 - 戦略的なICT利活用を実現するノウハウの提供

取締役	代表取締役	竹下 隆史
	取締役	田中 拓也
	社外取締役 (常勤監査等委員)	野口 和弘
	取締役 (監査等委員)	尾崎 務
	社外取締役 (監査等委員)	海野 忍
執行役員	社長執行役員 (CEO)	竹下 隆史
	執行役員 (COO)	田中 拓也
	(CFO)	北島 雅幸
		若月 孝昭
		石橋 和明
		金井 朗子
		辻 晃治
		上野 潤二
		畠山 大輔
		成田 吉充
		松本 陽一
		橋本 正樹
		藤田 雄介

組織図（2025年4月1日）



ネットワンパートナーズ株式会社



パートナー事業

ネットワンネクスト株式会社



リファービッシュメント
(再生品) 事業

Net One Systems
USA, Inc.

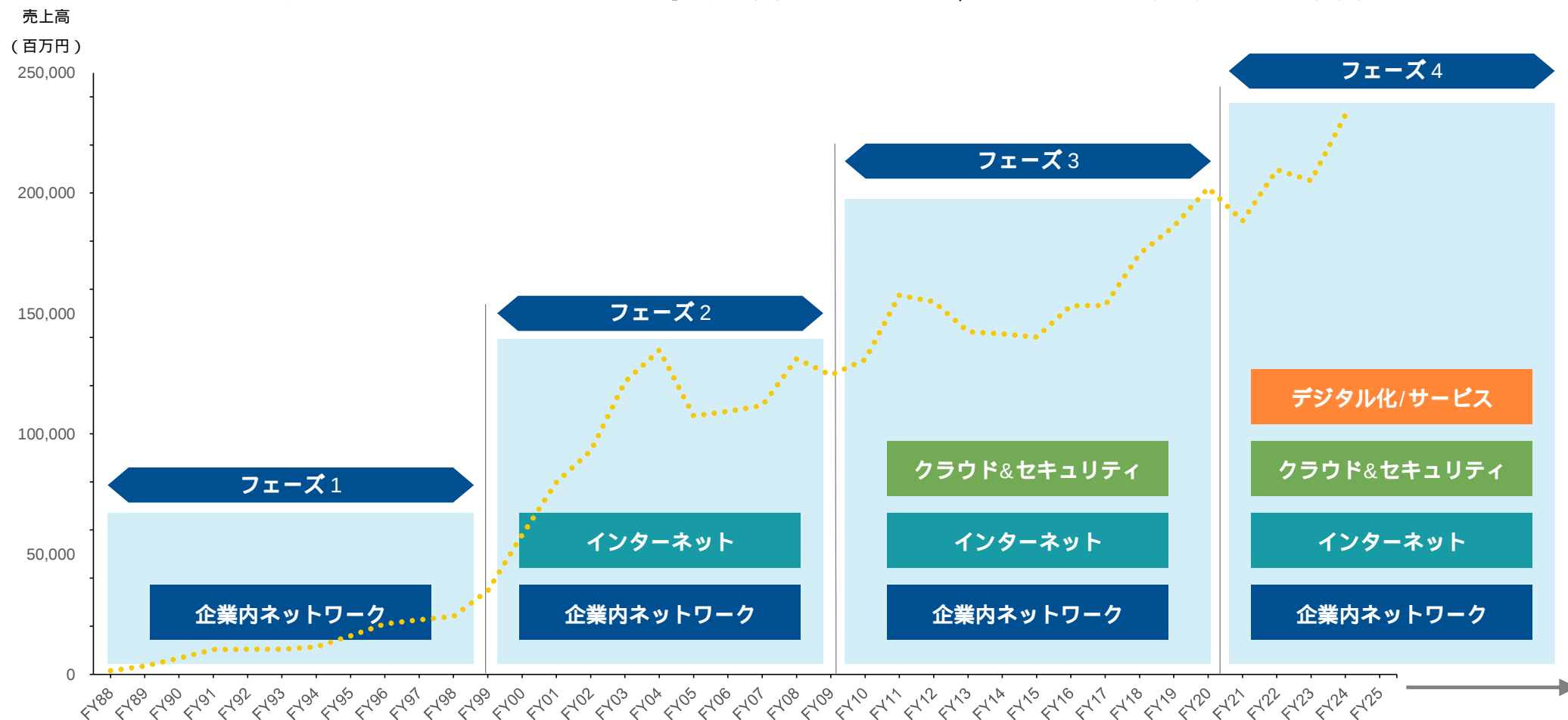


市場調査

1988年	LANの販売を目的としてネットワークシステムズ株式会社を設立
1989年	西日本事業所（現・関西支社）を開設 シスコシステムズ社製マルチプロトコルルータの国内独占販売開始
1990年	浮間物流センター（現・品質管理センター）を開設
1991年	通商産業省（現・経済産業省）よりシステムサービス企業として登録・認定
1992年	名古屋営業所（現・中部支社）を開設 東京都より特定建設業（電気通信工事業）として認可される
1994年	品川区に本社を移転
1995年	市場調査や最先端技術の開拓を中心事業とする米国現地法人 Tennoz Initiative Inc.（現・Net One Systems USA, Inc.）を設立 つくば営業所（現・つくばオフィス）を開設
1996年	札幌営業所（現・北海道支店）を開設 福岡営業所（現・九州支店）を開設 西日本事業所（現・関西支社）を移転 日本証券業協会に株式を店頭登録
1999年	シスコシステムズ社認定ゴールドパートナー資格を取得
2000年	テクニカルセンター・品質管理センターを統合・拡充 広島事業所（現・中国支店）を開設 東北事業所（現・東北支店）を開設
2001年	品質管理センターがISO9001認証を取得 東京証券取引所市場第一部に株式を上場
2002年	高松事業所（現・高松オフィス）を開設
2004年	ISO14001認証を全社で取得
2005年	豊田事業所（現・豊田オフィス）を開設
2007年	統合運用サービス施設「エキスパートオペレーションセンター（XOC）」を開設
2008年	VMware「VIP プレミアパートナー」に認定 ICT基盤の設計・構築及びサーバサービスを展開する株式会社エクシードに出資 パートナー企業との協業ビジネスに特化したネットワークパートナーズ株式会社を設立

2009年	ISO27001認証を全社で取得
2010年	株式会社エクシードの株式を追加取得して、同社を連結子会社化 個人情報保護に関するPマークを全社で取得
2012年	次世代ICT基盤デモ施設「ソリューション・ブリーフィング・センター」を設立 シンガポール駐在員事務所（現・Net One Systems Singapore）を開設
2013年	品質管理センター・サービス品質センターを統合拡充 コーポレートロゴを一新。千代田区に本社を移転。品川区に天王洲オフィスを開設 シンガポール現地法人Net One Systems Singapore Pte. Ltd.を設立
2014年	沖縄支店（現・沖縄オフィス）を開設
2016年	セキュリティ監視施設「セキュリティオペレーションセンター（SOC）」を開設 ASEANでクラウド基盤ビジネスを展開するAsiasoft Solutions Pte. Ltd.に出資
2017年	クラウド基盤ソフトウェアパッケージを提供するネットワークコネクタ合同会社を設立 北陸オフィスを開設 サブスクリプションサービス「NetOne "all in "Platform」を提供開始
2018年	株式会社エクシードを吸収合併 ファシリティサービスにおいて高い技術力を持つエクストリーク株式会社を子会社化 事務サービスを提供するネットワークビジネスオペレーションズ合同会社を設立
2019年	サブスクリプションサービスの拡大のため、ネットワークネクスト株式会社を設立
2020年	お客様のデジタルトランスフォーメーションを加速する専用施設 「ネットワークブリーフィングセンター・Lab as a Service（nBC&LaaS）」を開設
2022年	MSCI日本株女性活躍指数（WIN）の構成銘柄に選定 ネットワークグループ、新たな企業理念体系を発表 国公立大学生を対象とした修学支援（寄付）を開始 「JPX日経インデックス400」構成銘柄への選定
2023年	イノベーションセンター（netone valley）を開設
2024年	「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に認定 新サービスポートフォリオ「Managed ONE」を提供開始 SCSK株式会社のグループ企業に参画
2025年	東京証券取引所プライム市場への上場廃止

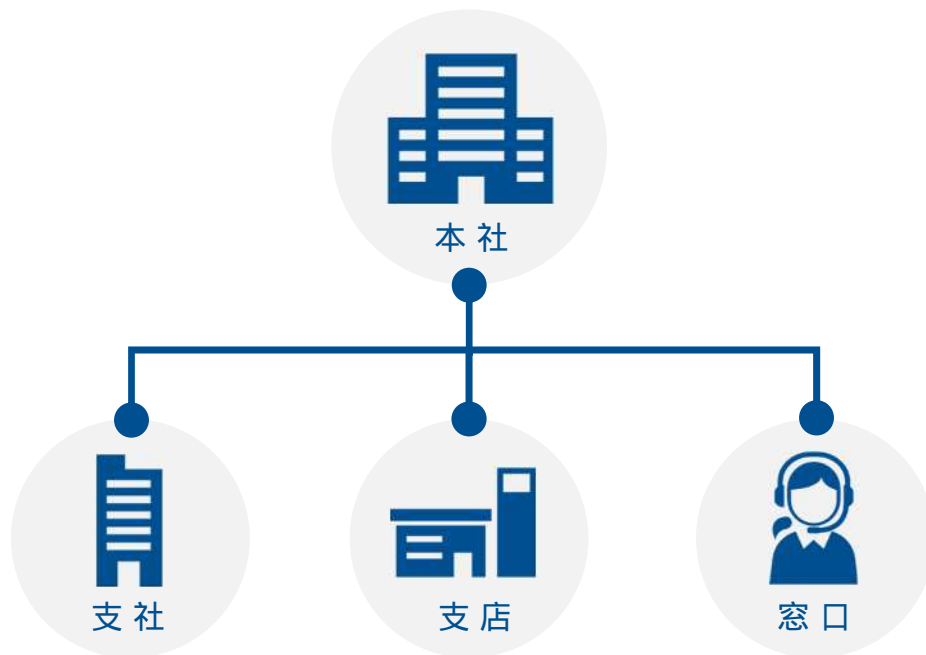
創業以来ネットワークを中核技術として、ICTの利活用を支援



離れた拠点との情報共有を実現

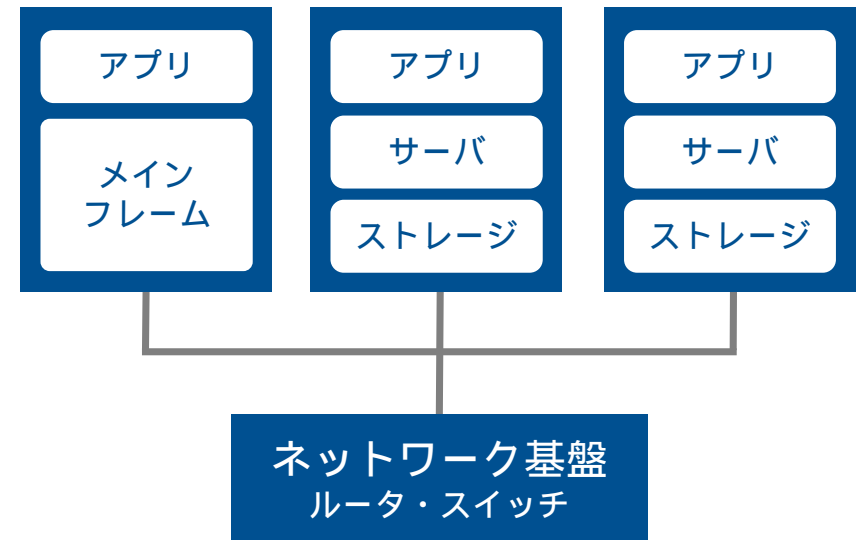
主なお客様 大手民間企業 / 研究所・大学

企業内ネットワーク



事業領域

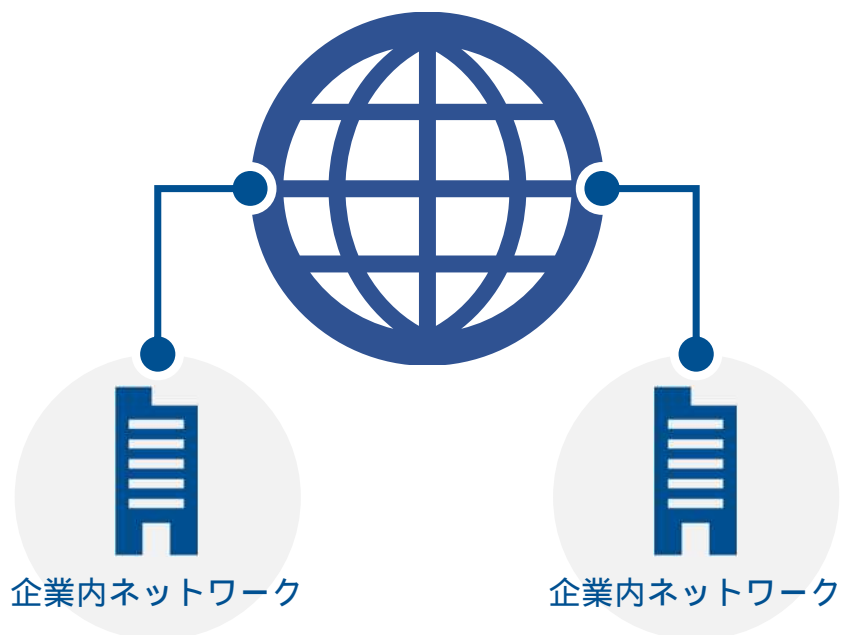
ネットワーク機器の販売 / 設計・構築 / 保守サービス



インターネットサービスの基盤を支援

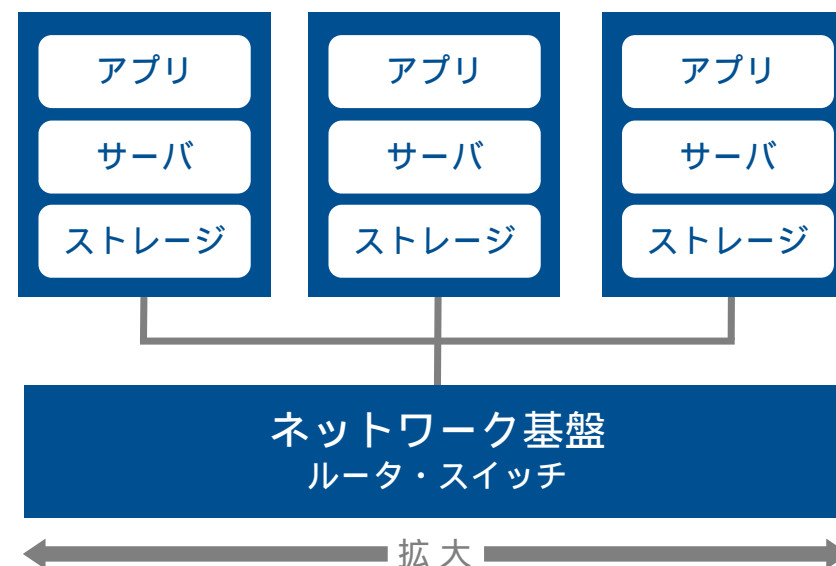
主なお客様 大手民間企業 / 通信事業者 / 官公庁・研究所・大学

インターネット



事業領域

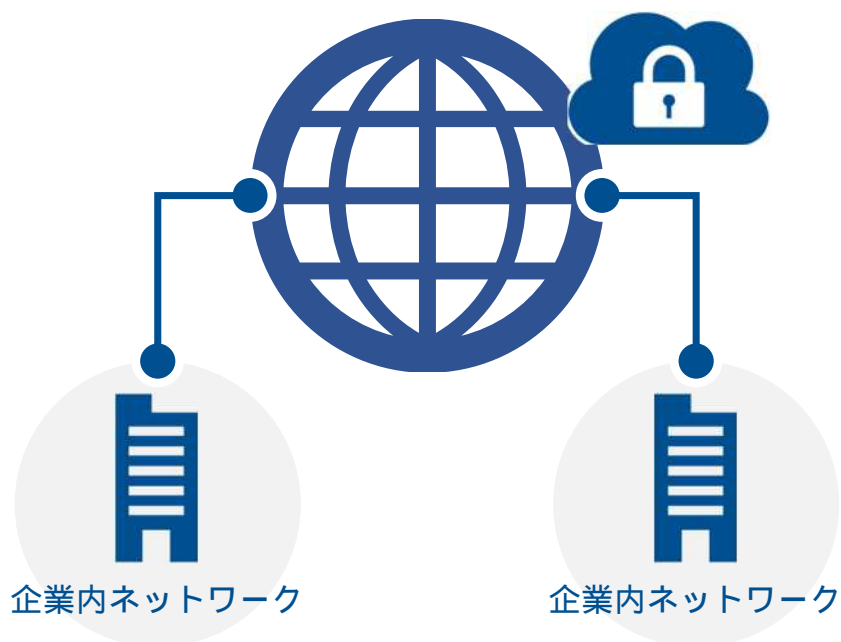
ネットワーク機器の販売、設計・構築・保守サービス



クラウドの安全な利活用を支援

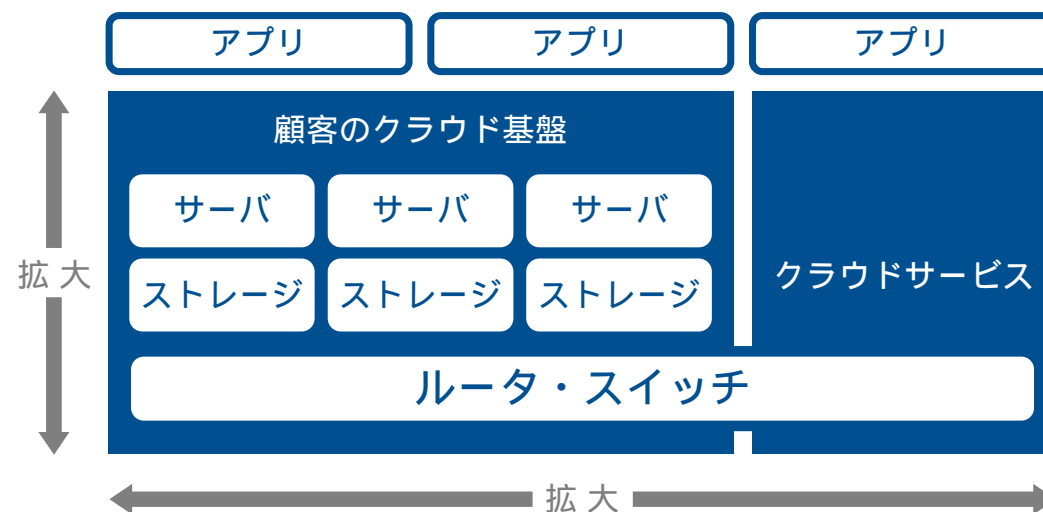
主なお客様 大手民間企業、通信事業者、自治体・官公庁・研究所・大学、パートナー企業

クラウド&セキュリティ



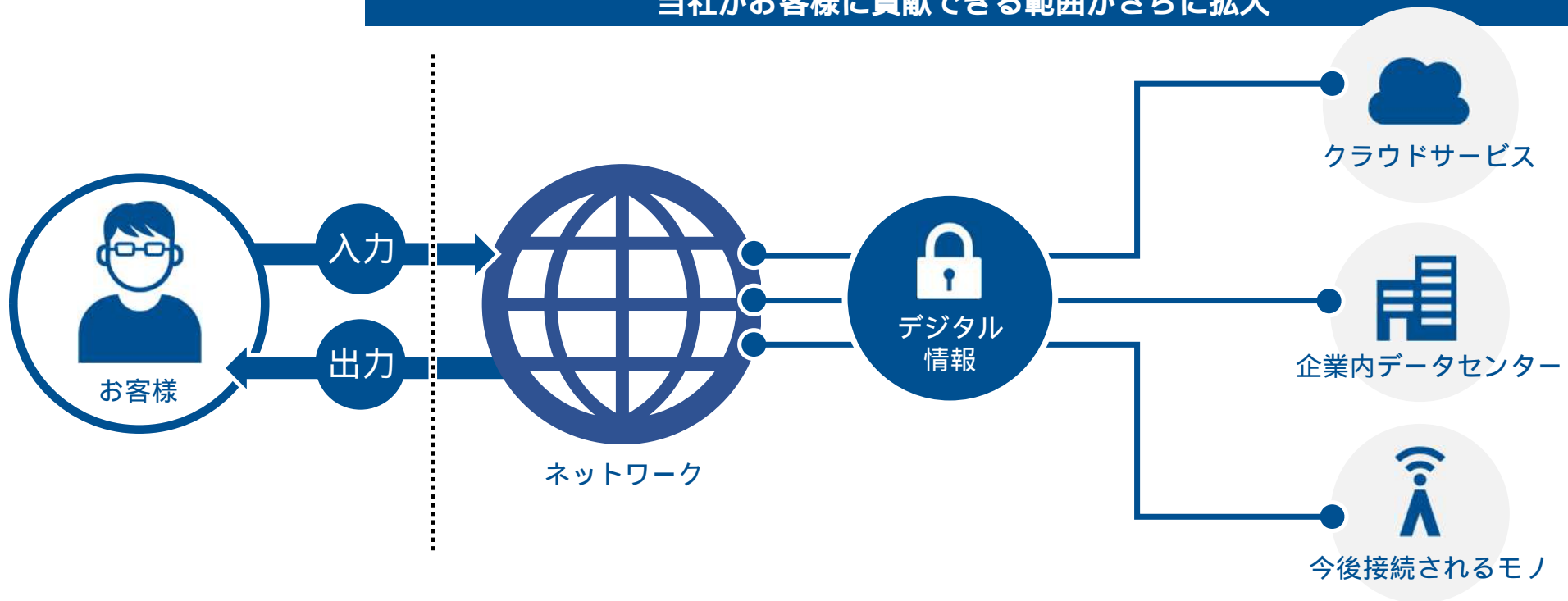
事業領域

ネットワーク・サーバ・ストレージ・仮想化ソフトの販売
設計・構築・保守・運用サービス



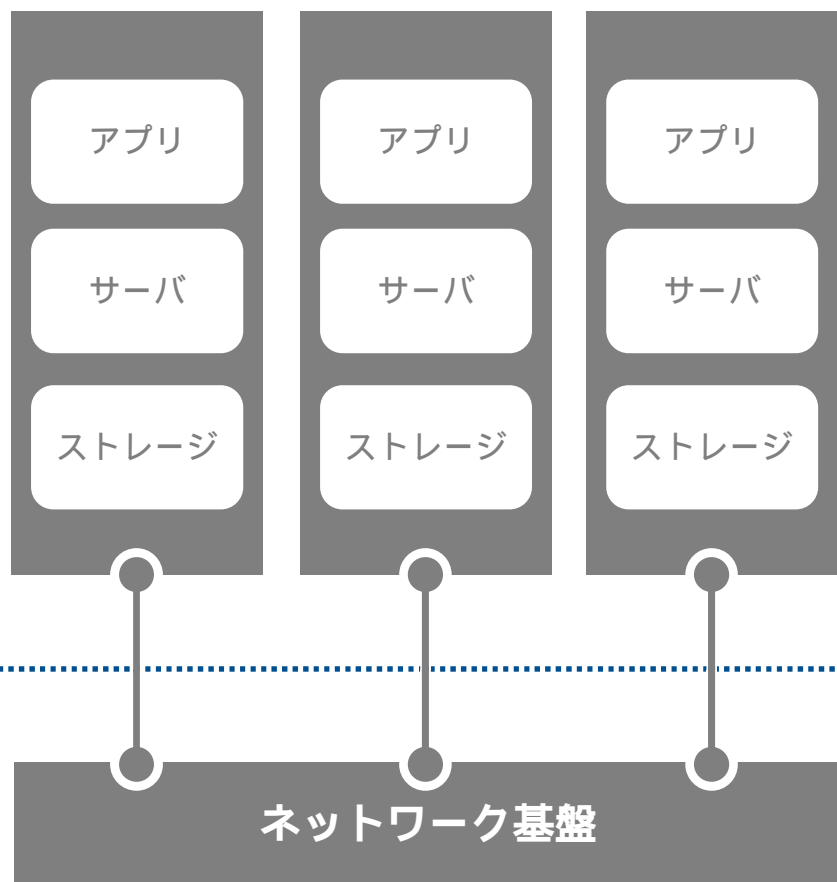
あらゆるモノがネットワークで接続され、
デジタル情報を安全に利活用できる時代へ

当社がお客様に貢献できる範囲がさらに拡大

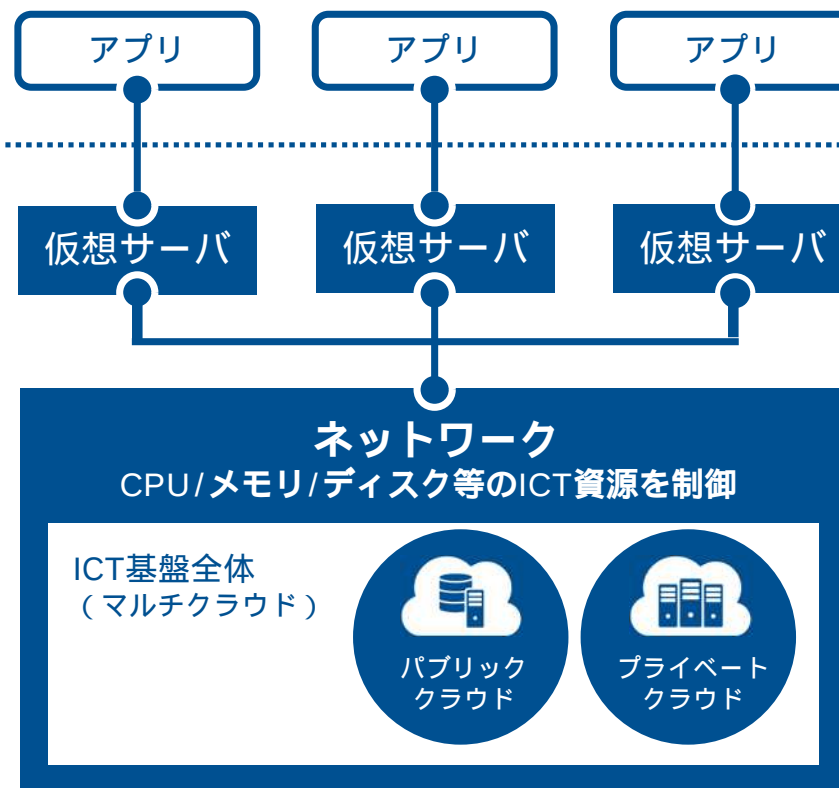


事業領域の拡大（ネットワークの役割の拡大）

従来



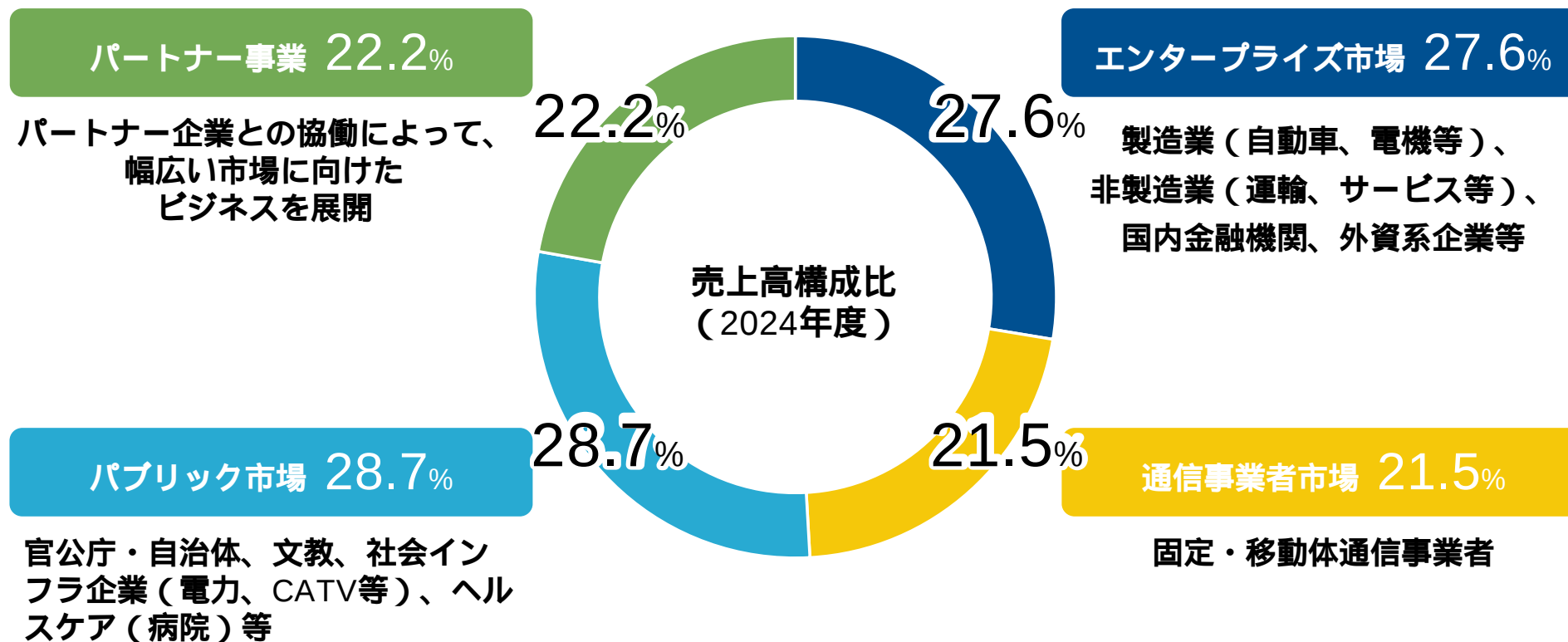
クラウド化



データのやり取りは全てネットワークを介するため、通信の状態を把握した上で、全体最適化やセキュリティを強化可能

03

ビジネスの現況

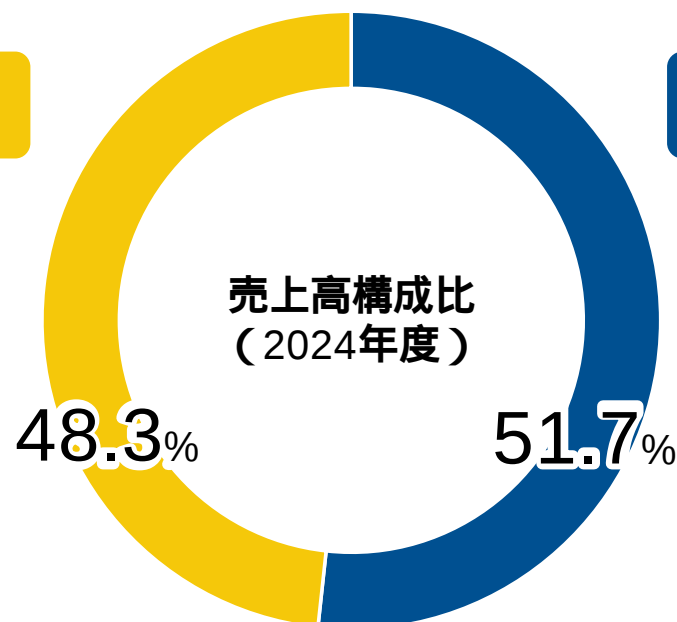


サービス商品群 48.3%

当社の人財が役務サービスとして
提供する商品
(設計・構築・保守・運用等)

機器商品群 51.7%

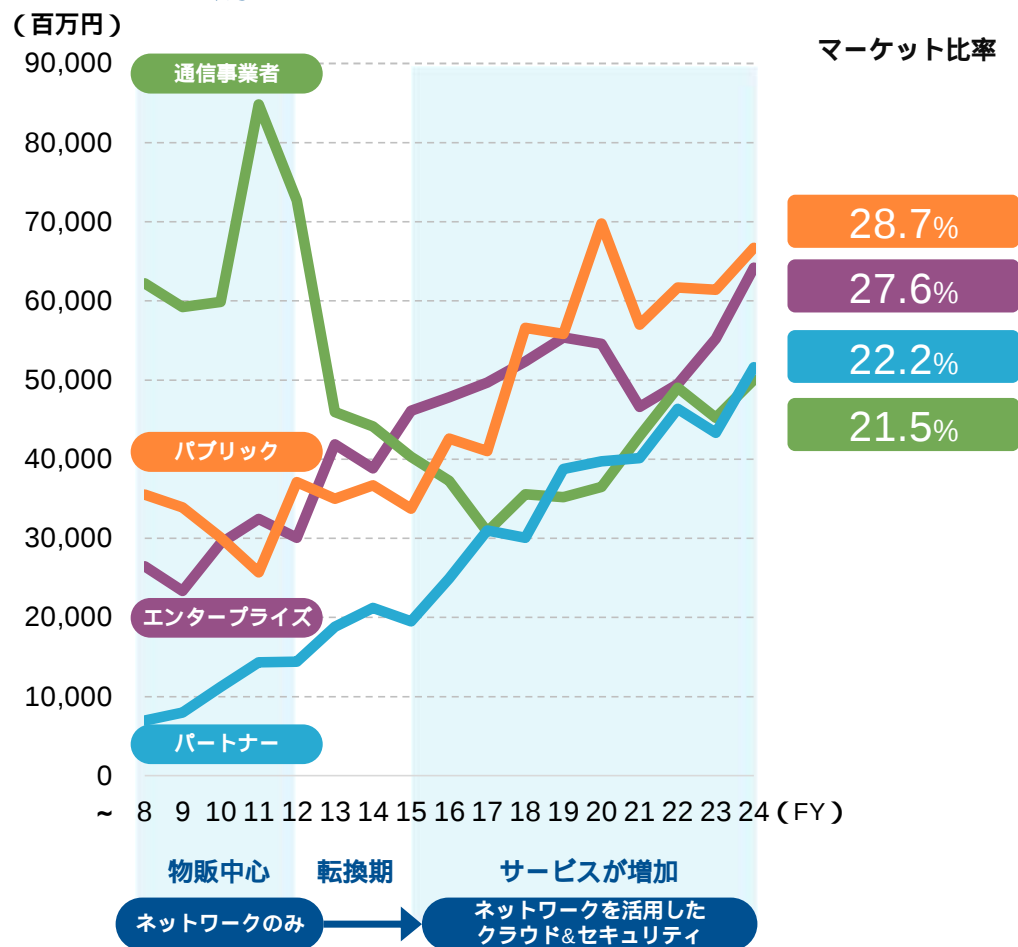
海外・国内のICTメーカーから
仕入・販売する商品
(ネットワーク機器・サーバ・ス
トレージ・セキュリティ・仮想化
ソフトウェア等)



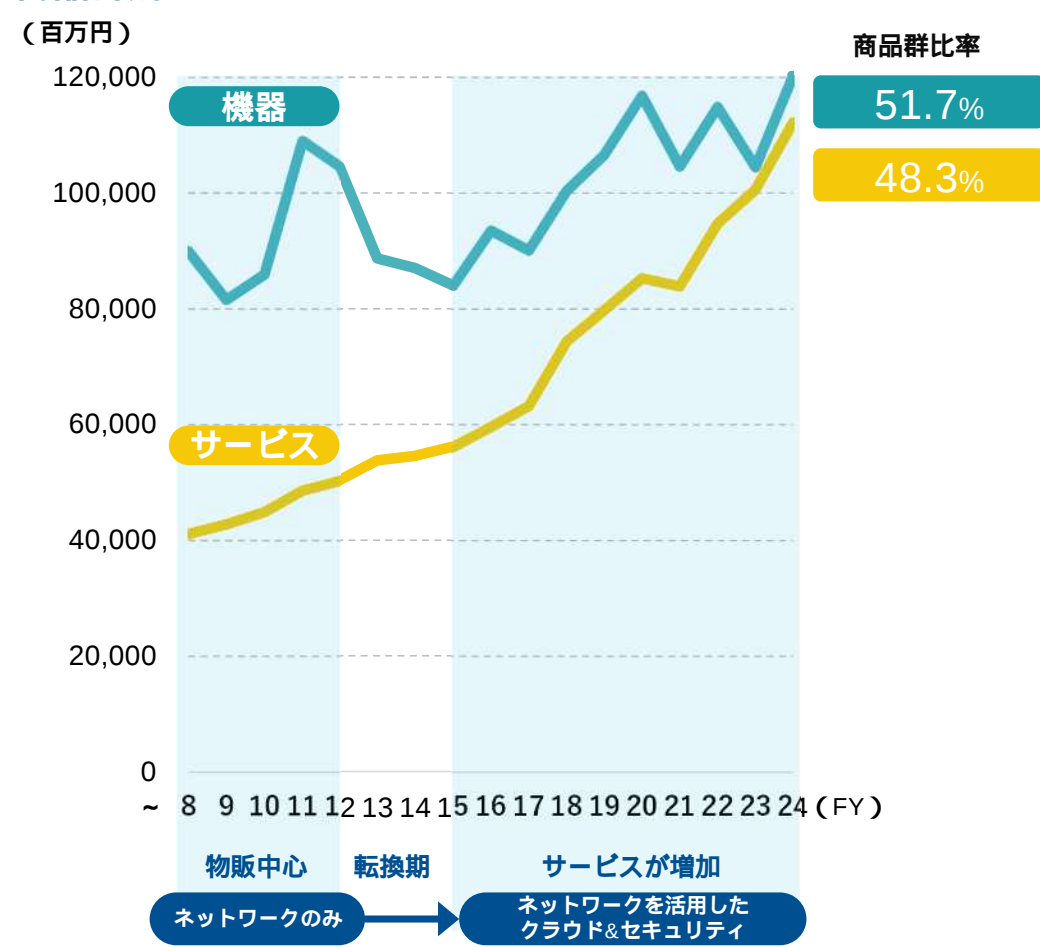
機器商品群とサービス商品群を組み合わせることで、当社独自の付加価値を創出し、
お客様に最適なICT基盤を提供しています

マーケット別・商品群別の売上高推移

マーケット別



商品群別



お客様の成長を支援するための価値を共創

マルチベンダー・インテグレーション

付加価値

ICT利活用の成功・失敗の知見

最先端の製品を組み合わせ、
性能・効果を独自に評価した上でご提案

お客様に提案するICTをまず社内実践
- 働き方改革・マルチクラウド・セキュリティ -



主なベンダー認定資格

戦略的アライアンス / 国内における最大規模の実績



ゴールドパートナー/Master資格を保有
Masterの他、数多くのSpecializationも保有

CCIE CCNP CCDP
CCNA CCDA

プレミアパートナー
あらゆるソリューションにおける提供能力を保有

VCP VCAP

最上位のパートナー認定資格を保有

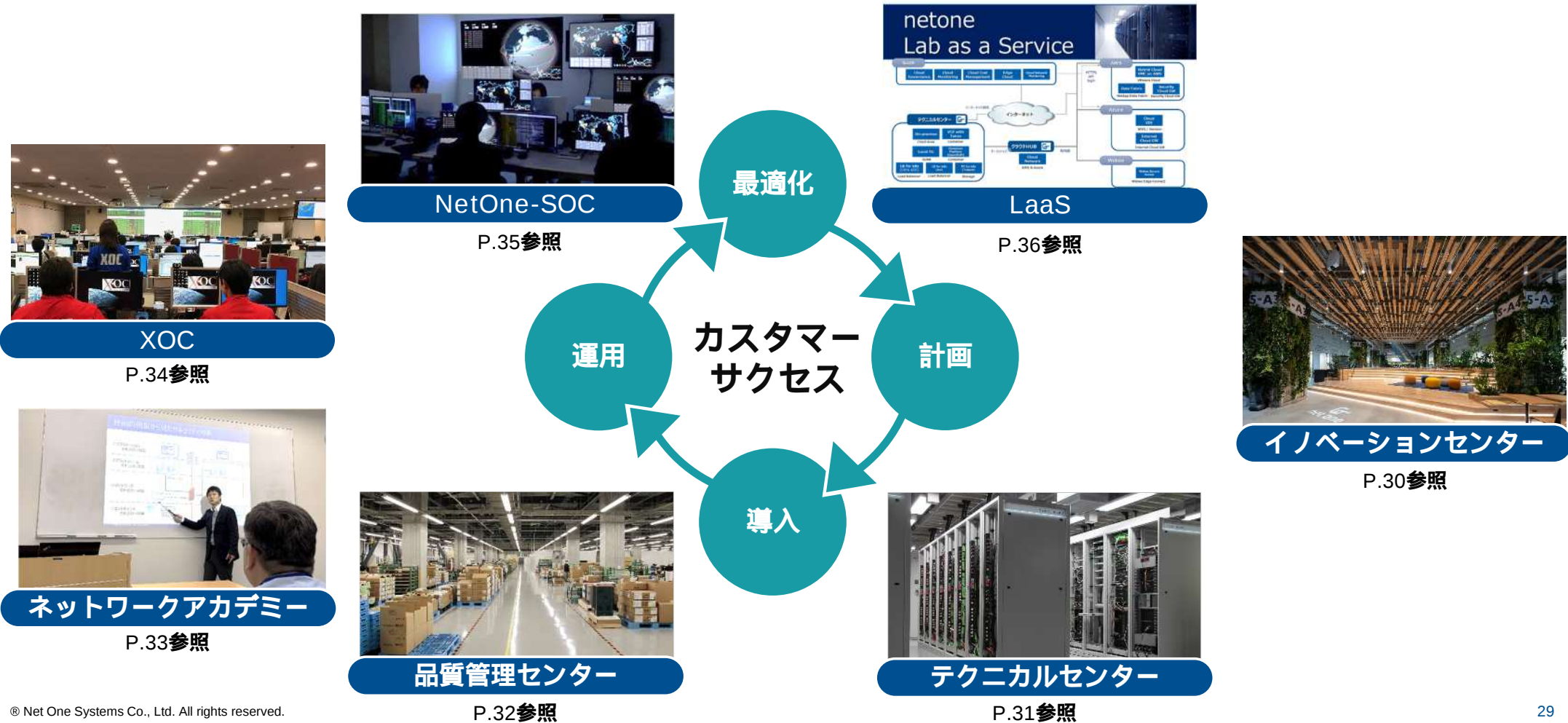


04

施設紹介

付加価値を支える施設

お客様のICTライフサイクル全てを支える施設があります



新しい価値を創造し豊かな未来を切り拓くチャレンジの場

イノベティブ人財
育成の場

データ・活動の
見える化と価値提供

ライフから生まれる
イノベーション

企業文化の醸成



PROJECT ROOM
パートナーやお客様との新たな
ビジネス・サービスを創出する
場。長期的な貸出可能。



VALLEY
イノベーションセンターの中心
となる場。
社内外の人や、技術、情報と出
会う。
コラボレーションやシナジーを
加速させる。



INNOVATION SHOW CASE
最新テクノロジーの組合せの紹
介や、新しいサービスなど、
ネットワンブランドが体験でき
る場。



CAFÉ LOUNGE
日常からのひと時の休息とリフ
レッシュ。または、チームから
離れて集中して思考する、終業
後に同僚やお客様とのハッピ
アワーを楽しむなど使い方は
様々。



V HALL
多様な利用が可能。
ランチタイムには、部署を超え
た社員との出会う場でもあり、
社内外向けのイベントやセミ
ナー開催など、ネットワークを
深めるハブとなる。フットサル
などのスポーツイベントも実施
可能

最新技術情報のいち早いキャッチアップとその一元化・共有化を行う 国内最大級のICT技術研究施設

導入後のトラブル防止に向けて、導入前にお客様のネットワーク環境やクラウド環境を再現して検証
また、新製品の市場導入前に、その性能・相互接続性・信頼性を評価・検証

国内最大級

敷地面積：約2,100m²
ラック本数：約300本
機器数：約9,000



環境を再現した導入前評価

導入後のトラブルを防止するため、
導入前にお客様のICT環境を再現して
検証



検証エリア/検証ルーム

電源・ネットワークを整備した検証
エリアを用意。お客様個別の検証
ルームも常設



販売商品・保守部材の品質・物流・在庫を一元管理

商品出荷から、納品前の一連の作業、導入時の構築支援、導入後の保守部材手配まで担当
全国規模の配送を24時間365日体制で実現

出荷商品の検査・不具合解析

入庫前のトラフィック試験、ヒートラン試験等による安定動作確認のほか、在庫検査を適用して品質を担保



入荷



検品



在庫化



組込／検査



プレインストール



出荷



迅速な復旧に向けた、最適な保守部材配備

約7,300種類・80,000点を超える保守部材を全国56力所の物流拠点に配備し、2時間以内でお客様に配送できる体制を構築



戻り部材



不具合報告書



入庫検査



在庫化



組込／出庫検査



出庫





高度な技術と豊富なノウハウを教育プログラムに集約 業界全体の技術力向上を支援する人財育成機関

教育コース

- オリジナルコース
ネットワークからセキュリティ、サーバ、ストレージ、仮想化など、実践的かつ幅広いICT技術習得が可能
- ベンダー認定コース
ベンダーから正規に認定された専任インストラクターによる最新のトレーニングを提供



カスタマイズも可能

お客様のご要望に応じて、内容・期間・場所等をカスタマイズしたプログラムを提供

実機に触れながら、初学者だけでなく、設計・構築・運用に関わる実践的な内容をカバーする豊富なコースラインナップ



専門分野の研修を拡大

- デジタル人財育成コース
DX推進者や開発者のみならず、全てのビジネスパーソンが学ぶことのできるコース体系を提供
- カーボンニュートラルコース
脱炭素社会の実現に向け、地球環境と温室効果ガス排出量削減の動向を学び知識を深めることのできるコース
(環境省認定脱炭素アドバイザーによるコース提供)

エキスパートオペレーションセンター（XOC）

24時間365日、ICT基盤の高可用性を支援

ICT基盤の仮想化やクラウド導入が進み、運用組織には幅広いスキルが必要に
リモート監視による可視化や自社システムの運用で培ったノウハウで、お客様に最適な運用サービスを提供



セキュリティオペレーションセンター（NetOne-SOC）

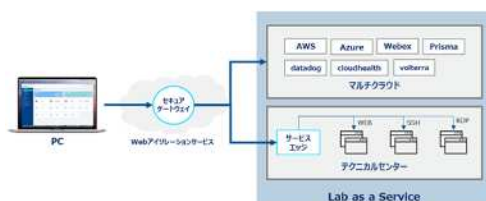
24時間365日のリアルタイム監視で、サイバー攻撃へ迅速に対処
オンプレミスのゲートウェイ/LAN/エンドポイントからクラウドまで、包括的に脅威を分析
インシデントの際には、該当通信の遮断や端末を隔離することで、被害の拡大を防ぐ



Lab as a Service (LaaSS)

お客様との共同検証専用の環境「Lab as a Service」で、 お客様のデジタルトランスフォーメーション（DX）加速に貢献

リモートアクセス



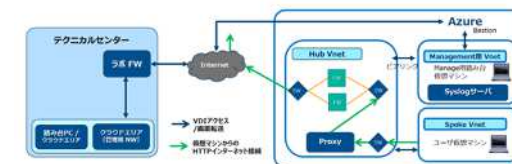
リモートアクセスによりお手持ちの
PCからアクセス可能（限定メニュー）

シナリオベースの検証メニュー



- 多数のメニューを提供中
- クラウド & オンプレ環境
- 先端テクノロジー

事前準備不要で利用可能



- 事前に構築済みの環境を提供
- 条件内の内容であればカスタマイズが可能
（機材持ち込み・構成変更等）

専門家とのディスカッション



利用後に発生する疑問や興味
に対して、メニュー開発者と
ディスカッションが可能

メニュー毎の操作ガイドを活用



製品知識がなくてもシナリオ
ガイドによりシステムを把握
して検証可能

つなぐ ∠ むすぶ ∠ かわる



net one